

第68回

日本スポーツ賞

<表彰式 パーティー>

会場 ウェスティンホテル東京(東京都目黒区)

日時 2019年1月11日(金) 11:00~

大賞



スケート **羽生 結弦**

掲載 6、7 ページ

オリンピック特別賞



スケート **平昌五輪
スピードスケート女子日本代表**

掲載 8、9 ページ

特別賞



水 泳 **池江 璃花子**

掲載 10、11 ページ

奨励賞



テニス **大坂 なおみ**

掲載 12、13 ページ

※敬称は省略してあります。
※受賞者の年齢は、2019年1月11日現在

競技団体別最優秀賞

個人										
陸上	大	迫	傑	15					
ス	渡	部	斗	15					
ボクシング	並	木	海	16					
レスリング	川	井	梨 紗子	16					
ウエイトリフティング	安	藤	美 希子	17					
自転車	河	端	朋 之朗	17					
相撲	黒	川	宏 次朗	18					
フェンシング	上	野	優 佳	18					
バドミントン	桃	田	賢 斗	19					
ライフル射撃	小	西	ゆ かり	19					
剣道	安	藤	乃 翔	20					
近代五種	山	中	詩 乃	20					
山岳・スポーツクライミング	原	田	海	21					
カヌー	矢	澤	亜 季	21					
空手道	植	草	步	22					
銃剣道	川	島	真 里子	22					
クレー射撃	中	山	由 起枝	23					
武術太極拳	荒	谷	友 碩	23					
トライアスロン	高	橋	侑 子	24					
ゴルフ	金	谷	拓 実	24					
ローラースポーツ	四 十 住	さ くら	25						

チーム					
サッカー	男子日本代表チーム (SAMURAI BLUE)	27		
ボート	日本代表チーム	27		
ホッケー	男子日本代表チーム「サムライジャパン」	28		
バレーボール(ビーチバレーボール)	石井美樹・村上めぐみペア	28		
体操(トランポリン)	森ひかる・宇山芽紅ペア	29		
セーリング	ベネッセセーリングチーム	29		
ハンドボール	女子U-24日本代表チーム	30		
ソフトテニス	アジア大会日本代表女子チーム	30		
卓球	女子日本代表チーム	31		
軟式野球	京葉銀行	31		
馬術	総合馬術日本代表チーム	32		
柔道	世界選手権男女混合団体戦日本代表チーム	32		
ソフトラボール	日本女子代表チーム	33		
弓道	世界弓道大会日本代表チーム	33		
ラグビー	アジア大会女子日本代表チーム	34		
アーチェリー	アジア大会ミックス(混合)チーム	34		
なぎなた	島根県チーム	35		
ボウリング	アジア大会男子トリオチーム	35		
野球	大阪ガス	36		
カヌー	ロコ・ソラーレ	36		
アメリカンフットボール	大学世界選手権日本代表チーム	37		
サーフィン	ワールドサーフィンゲームズ日本代表チーム	37		

ホッケー

男子日本代表チーム「サムライジャパン」

■チームリーダー：安西 浩哉 ■監督：アイクマン・シークフリード
 ■男子チームリーダー：山堀 貴彦 ■コーチ：牧本 智之 ■トレーナー：河村 篤
 ■アナリスト：ベリンガ・ライナー
 ■選手：吉川 貴史、高野 雄介、山下 学、膳棚 大剛、大橋 雅貴、山田 翔太、霧下 義貴、北里 謙治、三谷 元騎、田中 世蓮、星 卓、落合 大将、田中 海渡、田中 健太、村田 和麻、福田 健太郎、山崎 晃嗣、渡辺 晃大



8月にインドネシアで開催されたアジア大会の決勝で、マレーシアをシュートアウト(SO)戦の末に下し、初優勝を果たした。同大会でメダルを獲得したのは、1970年バンコク大会での銅メダル以来48年ぶり。

前半は相手のスピードに対応できずに4点を失い、最終クォーターで一時、2-5の3点差に。それでも、あきらめなかった。ペナルティーコーナーの好機を生かして土壇場で同点に追いつくと、SO戦ではGKの好セーブ

が飛び出すなどして劇的な逆転勝ち。これで同大会の男女アベック優勝を達成した。

激闘を制したサムライジャパン。今回の金メダルは、2020年東京五輪での飛躍に向け、絶好のスタートとなった。

バレーボール (ビーチバレーボール)

石井美樹・村上めぐみペア

■監督：望月 剛
 ■選手：石井 美樹、村上 めぐみ



写真提供：日本バレーボール協会

7月9日からスイス・グシュタードで行われたワールドツアー5スター大会で5位に入賞。同25日から東京で行われた同ツアー3スター大会で3位に食い込み、日本勢として初めてメダルを獲得した。

さらに、8月にインドネシアで行われたアジア大会では、日本女子として12年ぶりの決勝進出。中国に1-2で敗れ、悲願の大会制覇はならなかったが、この準優勝は、2016年のリオデジャネイロ五輪で、男女とも出場を初めて逃した日本ビーチバレーボール界に明るい話題を提供するとともに、2020年東京五輪に向けて新たな希望をつないだ。

体操 (トランポリン)

森ひかる・宇山芽紅ペア

森 ひかる ■年齢：19歳 ■身長：159cm ■体重：50kg ■出身地：東京都
 宇山 芽紅 ■年齢：22歳 ■身長：158cm ■体重：50kg ■出身地：千葉県



11月にロシア・サンクトペテルブルクで行われた世界選手権のシンクロナイズド女子で、見事、金メダルを獲得した。同選手権の制覇は、日本女子では個人も含めて初めて。歴史的な勝利の瞬間、2人は抱き合って喜びを分かち合った。

故障者が出た影響で、大会直前になってペアを組んだ。シンクロナイズドは、2台のトランポリンで2人が同じ演技構成を実施し、出来栄えや同調性などを競う。そのため急造ペアは不利に思われたが、春まで同じクラブで先輩後輩の間柄だった2人は、そんな不安を感じさせないほど息が合い、予選トップで決勝に進んだ。

一発勝負の決勝は、先に演技した7組中5組が中断で自滅する波乱の展開となったが、10種類の跳躍技を粘り強く成功させ、暫定首位だったカナダペアを0.84点差でかわして勝利をもぎとった。

セーリング

ベネッセ セーリングチーム

■監督：山崎 昌樹 ■コーチ：吉田 雄悟
 ■選手：吉田 愛、吉岡 美帆



8月の世界選手権(デンマーク)の女子470級で、吉田愛・吉岡美帆組が見事に優勝を果たした。この種目での優勝は日本初。続くアジア大会(インドネシア)の女子470級でも、金メダルを獲得した。

小学1年からセーリングを始めた吉田は、日本セーリング界におけるパイオニア的存在である。10歳年下の吉岡とは2012年ロンドン五輪後の合宿で出会い、ペアを結成した。16年リオデジャネイロ五輪で3大会連続出場となったが、決勝レースで惜しくもメダルを逃し、5位に終わった。日本代表としてロンドン五輪に出場した夫・吉田雄悟をコーチとし、チーム一丸となって東京五輪の頂点をめざす。